



プレミアムグループ株式会社 東証プライム 7199

2026年 3 月期 第 3 四半期 決算説明資料

2026年 2 月10日



- 01 決算ハイライト
- 02 通期業績予想
- 03 マーケット・KPI
- 04 決算概要
- 05 ファイナンス事業
- 06 故障保証事業
- 07 オートモビリティサービス事業
- 08 カープレミアクラブ
- 09 その他進捗
- 10 Appendix



01 決算ハイライト

02 通期業績予想

03 マーケット・KPI

04 決算概要

05 ファイナンス事業

06 故障保証事業

07 オートモビリティサービス事業

08 カープレミアクラブ

09 その他進捗

10 Appendix

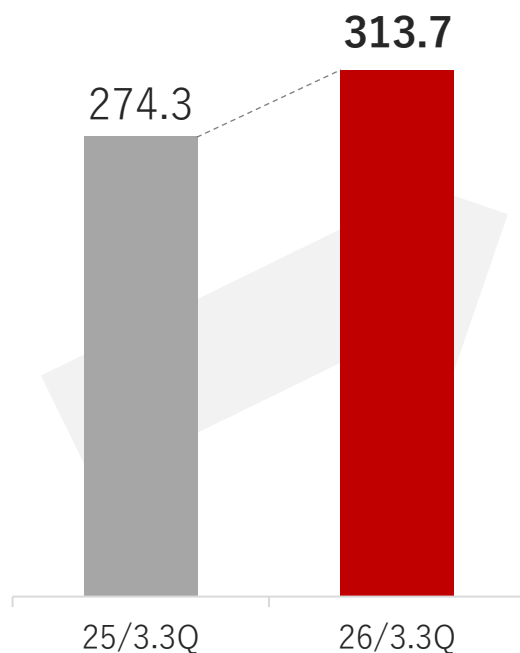
- 営業利益及び税引前利益は累計で前年を下回るも、第3四半期単Qでは前年比プラスに転じる（単Q比：税引前利益+9.9%）
第4四半期も前年比プラスで推移し、税引前利益は過去最高益を見込む
- 一方、システム障害に伴う対応費用が想定を上回り、通期業績予想を修正（詳細はP.6~7）

業績

（グラフ単位：億円）

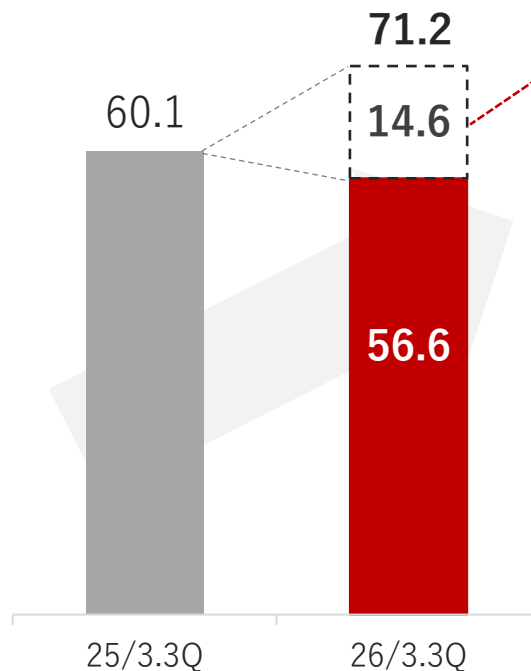
営業収益

前年比
+14.4%



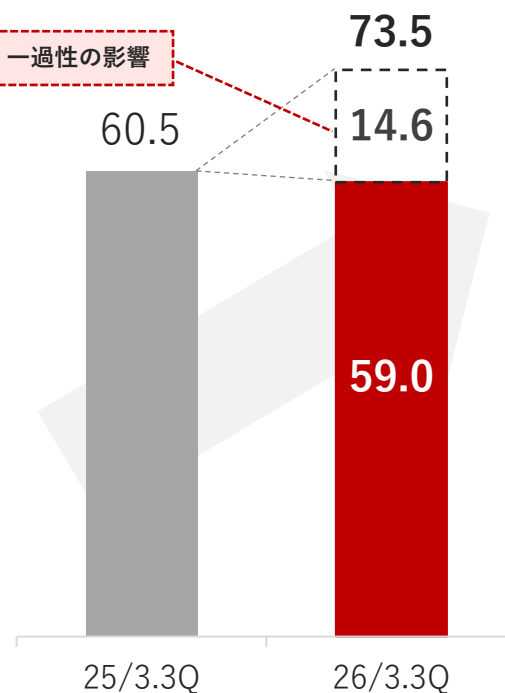
営業利益

前年比
▲5.8% (+18.5%)
一過性の影響を除く



税引前利益

前年比
▲2.5% (+21.6%)
一過性の影響を除く



将来収益（繰延収益）

全体

663億円
前年比 +9.3%

ファイナンス

563億円
前年比 +8.5%

故障保証

90億円
前年比 +13.0%

ソフトウェア事業・ カープレミアクラブ会費

10億円
前年比 +21.4%



01 決算ハイライト

02 通期業績予想

03 マーケット・KPI

04 決算概要

05 ファイナンス事業

06 故障保証事業

07 オートモビリティサービス事業

08 カープレミアクラブ

09 その他進捗

10 Appendix

通期業績予想（下方修正）



- ・ 営業収益の業績予想は期初計画から変更はなく、着実な増収を継続
- ・ 税引前利益は前年比+24.1%以上と過去最高益を見込むも、計画比▲3.3%~▲5.6%へと業績予想を修正
- ・ 計画修正に至った主な要因は以下の2点（①システム障害に伴う対応費用、②収益計上の時期ずれ等）
- ・ 年間配当額は期初計画から変更はなく、株主還元の拡充のため自己株式の取得も実施、総還元性向は約50%以上を見込む

（単位：百万円）

2025年3月期		2026年3月期					
通期業績		通期業績予想 （期初計画）	前年比 （期初計画）	通期業績予想 （修正後）	前年比 （修正後）	期初計画差	期初計画比
営業収益	36,409	42,000	+15.4%	42,000	+15.4%	0	0
税引前利益	6,851	9,000	+31.4%	8,500 ~8,700	+24.1% ~+27.0%	▲500 ▲300	▲5.6% ▲3.3%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	4,651	6,100	+31.1%	5,800 ~5,900	+24.7% ~+26.8%	▲300 ▲200	▲4.9% ▲3.3%
基本的1株当たり 当期利益（円）	122.61	160.79	+31.1%	150.70 ~153.30	+22.9% ~+25.0%	▲10.09 ▲7.49	▲6.3% ▲4.7%
年間配当額（円）	40	54	—	54	—	0	0

期初計画からの主な増減要因

①システム障害に伴う対応費用	
諸費用売上の放棄	▲ 5 億円
貸倒引当金	+ 1 億円
外部委託費用	+ 1 億円
税引前利益▲ 3 億円	
②収益計上の時期ずれ等	
収益計上の時期ずれ	▲ 7 億円
本業による影響	+ 5 億円
税引前利益▲ 2 億円	
第3四半期時点での影響額 ▲ 5 億円	

（注）親会社の所有者に帰属する当期利益及び基本的1株当たり当期利益の算定は、期首時点の見積実効税率を適用しております。

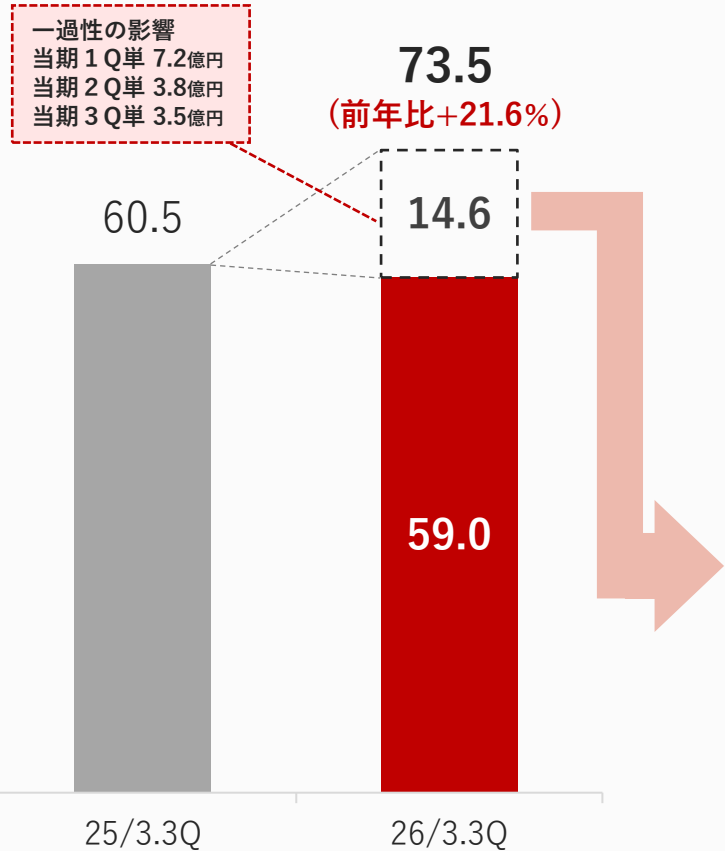
通期業績予想（下方修正） / システム障害の現況



- システム障害に伴う対応費用は、第3四半期累計で**14.6億円**（目標比+2.5億円）
- 貸倒引当金の戻入は期初の目標である7.1億円を第3四半期で達成
- 基幹システムは、旧システムへ切り戻して以降、**安定的に稼働**。新システムはベンダーを刷新し**再構築に注力**

26/3.3Q 税引前利益(一過性の影響除く)

(グラフ単位：億円)



システム障害による影響額

(単位：億円)

システム障害に伴う対応費用	26/3通期 (目標)	26/3.3Q (実績)	26/3通期 (見込み)
システム対応費用	16.6	15.5	16.6
外部委託費用	2.6	1.4	2.1
諸費用売上の放棄※1	—	4.8	5.0
貸倒引当金※2	▲7.1	▲7.1	▲8.3
合計(税引前利益への影響額)	12.1	14.6	15.4

- ✓ 第4四半期での発生額は約1億円と減少の見込み
- ✓ 通期では+15.4億円（目標比+3.3億円）を見込む

システム障害の現況と対応

- 現在の状況
 - 誤請求及び信用情報の修正手続きを全て完了
 - 旧システムへの完全切り戻しを実施し、**全ての業務が安定的に稼働中**
- 今後の対応
 - 新たな不具合は発生しておらず**、過去の事象に起因するお客様対応を継続
 - 新たな外部ベンダーとの再構築プロジェクトを進行中**
 - 旧外部ベンダーへは**損害賠償請求を進行中**

(注) システム障害による前期の影響の詳細につきましては、2025年3月期開示の**決算説明資料P.5**をご参照ください。
(※) 1. 通常お客様に請求しております各種手数料のうち、システム障害の影響により発生し、当社の負担としたものとなります。
2026年3月期 第1四半期においては、当該費用の金額が僅少であったため、外部委託費用と合算して「外部委託費用等」として記載しております。
2. 本ページに記載の貸倒引当金の金額は、システム障害の影響で発生した金額のみを抽出しており、財務会計上の科目と一致いたしません。



01 決算ハイライト

02 通期業績予想

03 マーケット・KPI

04 決算概要

05 ファイナンス事業

06 故障保証事業

07 オートモビリティサービス事業

08 カープレミアクラブ

09 その他進捗

10 Appendix

2026年3月期 第3四半期 マーケット・KPI



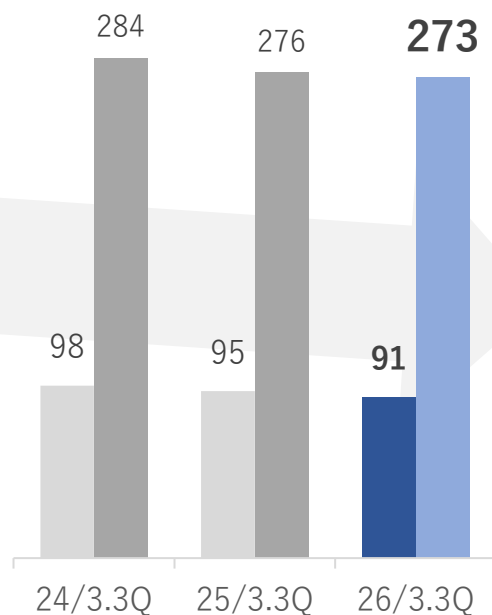
- 新車、中古車ともに第3四半期単Qは前年割れ。中古車は累計で前年の水準を維持、市場全体は依然として足踏み
- クレジット取扱高**は、第2四半期の影響※1が残るも足元は**回復基調**へ。**第4四半期以降でのさらなる回復**を見込む
- 故障保証取扱高**は、プロパー商品の販促強化及びOEM商品の新規獲得により、引き続き**堅調な推移**

マーケット※2

(グラフ単位：万台)

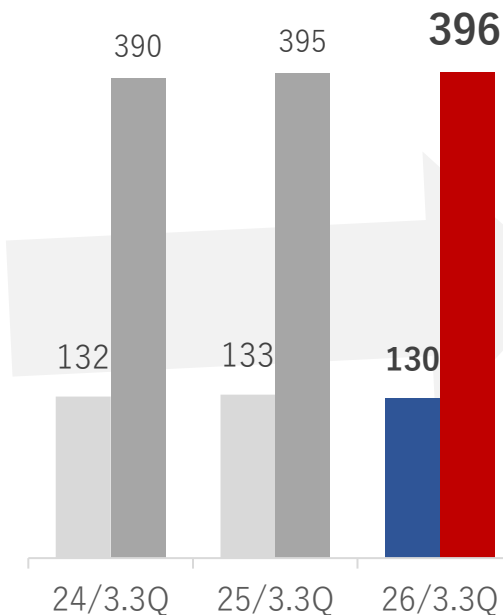
新車販売台数

単Q 前年比 ▲3.7%
累計 ▲0.9%



中古車登録台数

単Q 前年比 ▲2.2%
累計 +0.2%

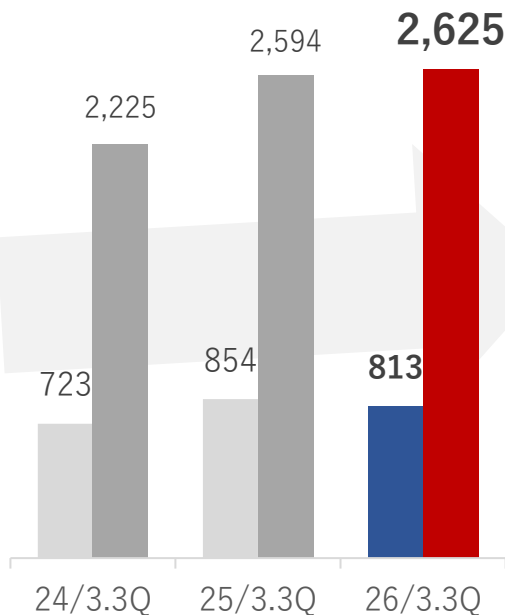


KPI

(グラフ単位：億円)

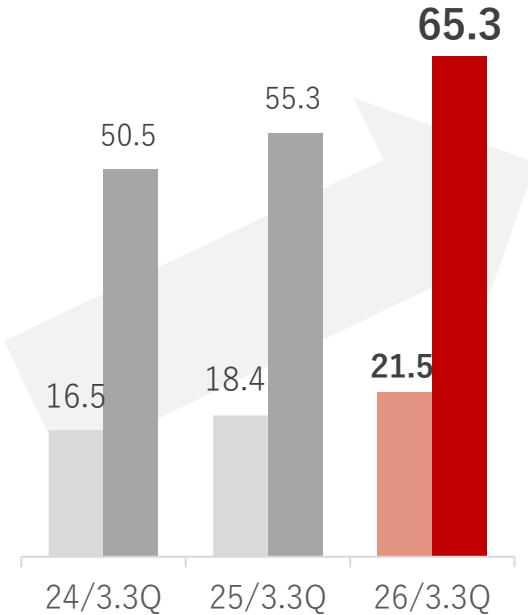
クレジット取扱高※3

単Q 前年比 ▲4.8%
累計 +1.2%



故障保証取扱高

単Q 前年比 +16.6%
累計 +18.0%



(※) 1. 第2四半期に発生した旧システムへの完全切り戻しによる新規受付停止、債権回収業務の強化に伴う営業リソースの低下、粗利益の確保を優先した影響を指しております。

2. 軽自動車を含めた台数を記載しております。出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会 統計データ、一般社団法人全国軽自動車協会連合会 統計データ

3. 2025年3月期 第3四半期のクレジット取扱高については、一部修正を行っております。



01 決算ハイライト

02 通期業績予想

03 マーケット・KPI

04 決算概要

05 ファイナンス事業

06 故障保証事業

07 オートモビリティサービス事業

08 カープレミアクラブ

09 その他進捗

10 Appendix

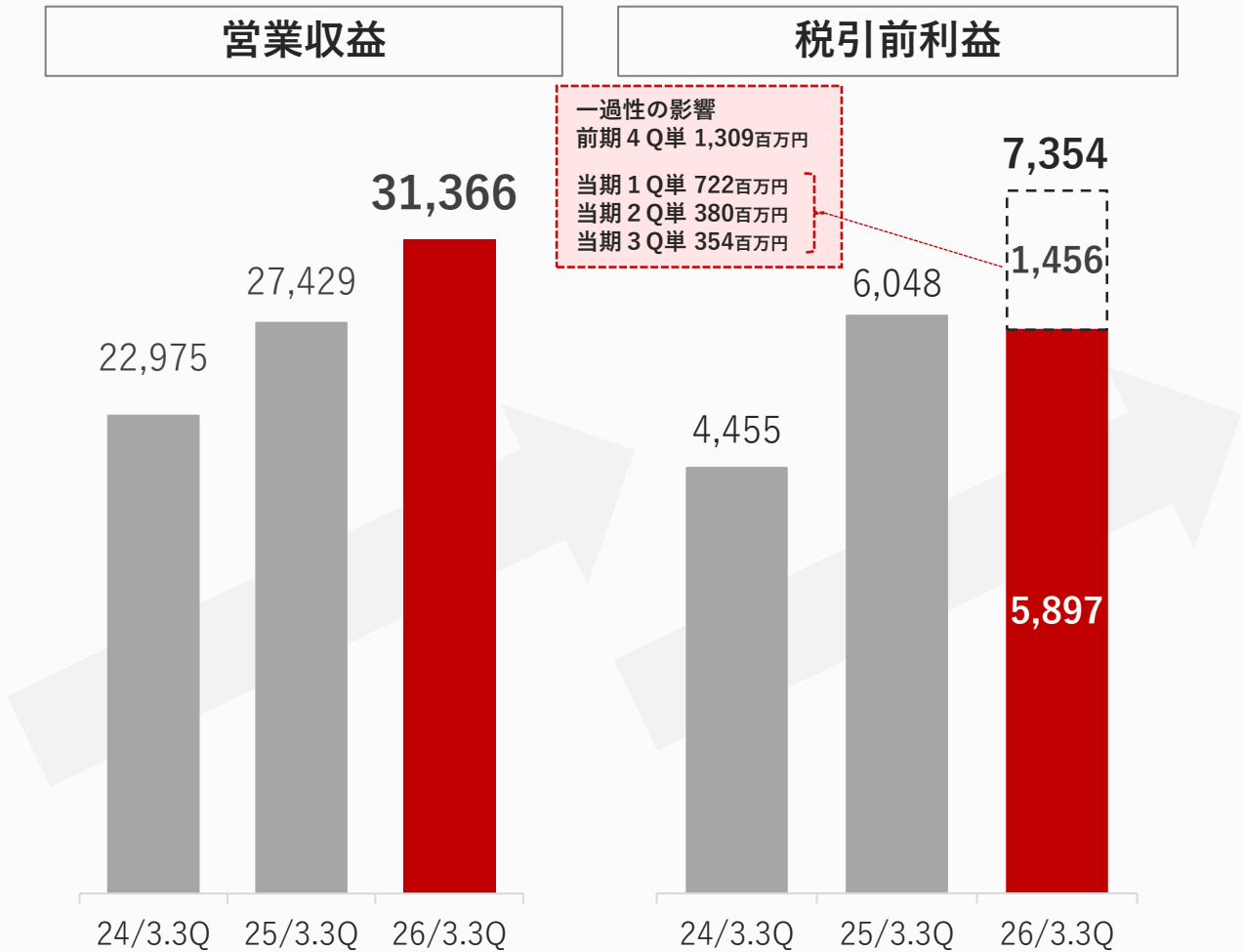
連結業績

(単位：百万円)



- ・ 営業収益は計画通りに進捗
- ・ 営業費用は、抑制の取り組みが着実に進展（前年比推移 1Q：27.1%⇒2Q：23.4%⇒3Q：20.0%）
- ・ 一過性の影響を除いた税引前利益は前年比+21.6%

	25/3.3Q	26/3.3Q	前年比
営業収益	27,429	31,366	+14.4%
営業費用	21,420	25,705	+20.0%
営業利益	6,009	5,662	▲5.8%
税引前利益	6,048	5,897	▲2.5%
税引前利益 [一過性の影響を除く]	[6,048]	[7,354]	[+21.6%]
親会社の所有者に 帰属する当期利益	4,111	4,061	▲1.2%
基本的1株当たり 当期利益（円）	108.39	105.52	▲2.7%



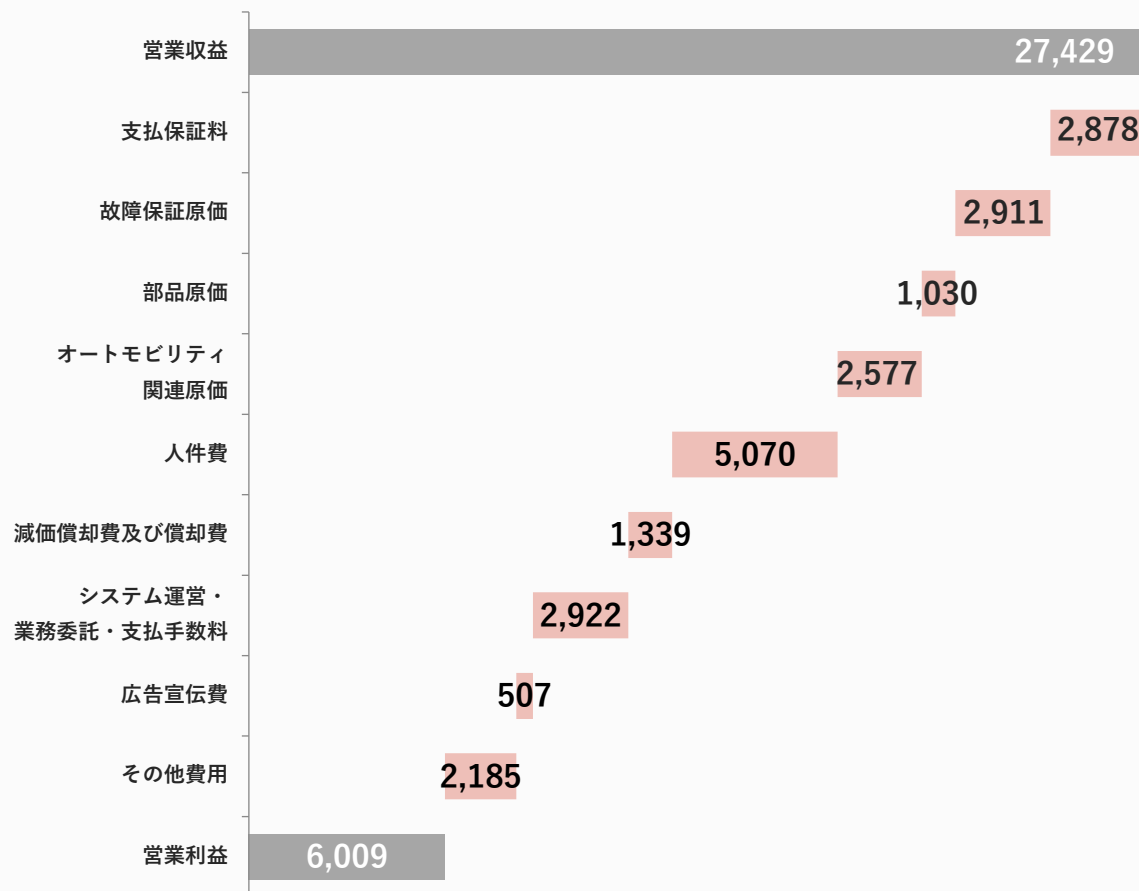
営業費用（内訳）の推移

（単位：百万円）

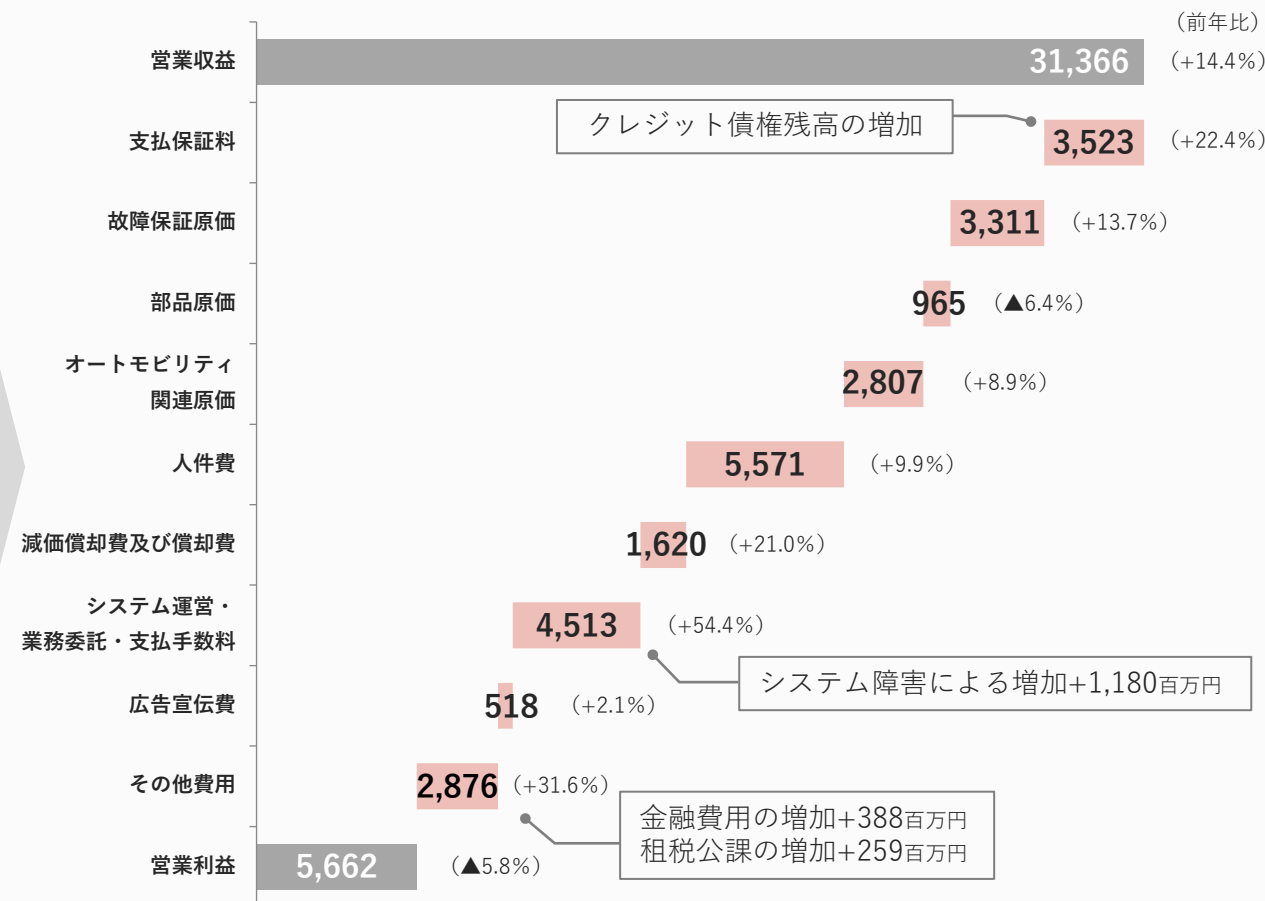


- システム対応費用等を除いた場合の**営業費用**は前年比**+12.1%**の240億円と、**費用削減**の取り組みは**継続**

25/3.3Q 営業費用
21,420百万円



26/3.3Q 営業費用
25,705百万円（前年比 +20.0%）



（注）2025年3月期の通期決算説明資料に記載していた「金融資産の減損損失」の項目は、2025年及び2026年3月期 第2四半期に発生がないため、本資料では記載を省略しております。



01 決算ハイライト

02 通期業績予想

03 マーケット・KPI

04 決算概要

05 ファイナンス事業

06 故障保証事業

07 オートモビリティサービス事業

08 カープレミアクラブ

09 その他進捗

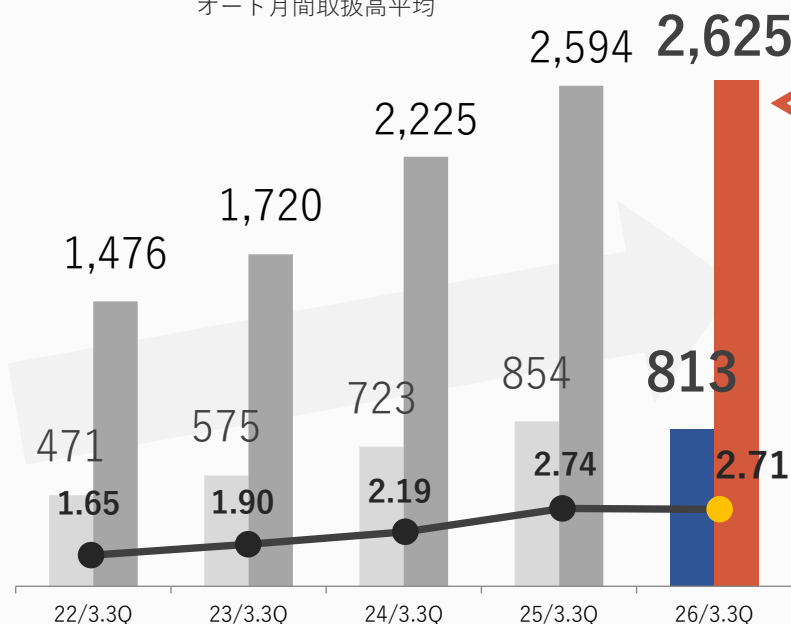
10 Appendix

- ・ **クレジット取扱高**は、第2四半期の影響※1が残るも足元は**回復基調**へ
営業活動に注力できる体制へ戻り、会員獲得及び加盟店フォローを強化し、早期回復を目指す
- ・ **延滞債権残高率**は第2四半期がピークとなり、**正常化に向けて進行中**（2Q：4.29%⇒3Q：4.08%）

クレジット取扱高

クレジット取扱高（単Q）
クレジット取扱高（累計）
オートPH（単Q）

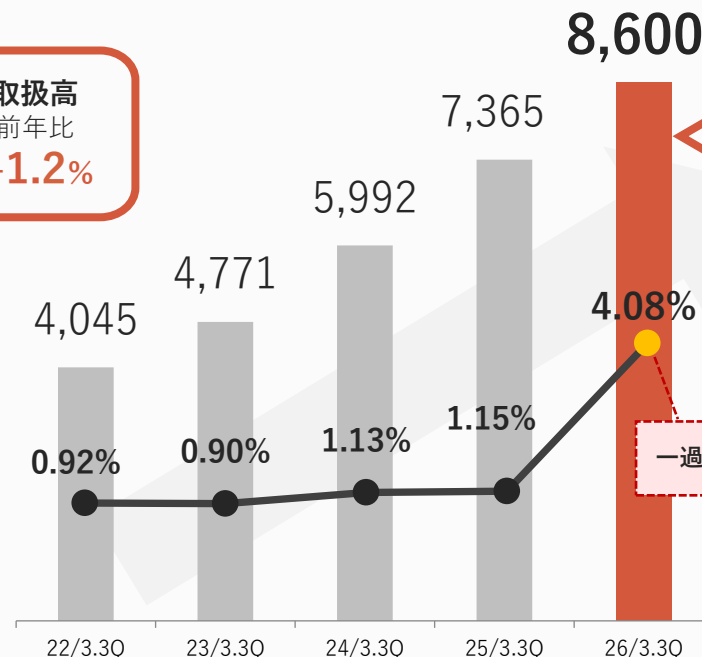
※オートPH…オート営業1人あたりの
オート月間取扱高平均



取扱高
前年比
+1.2%

クレジット債権残高

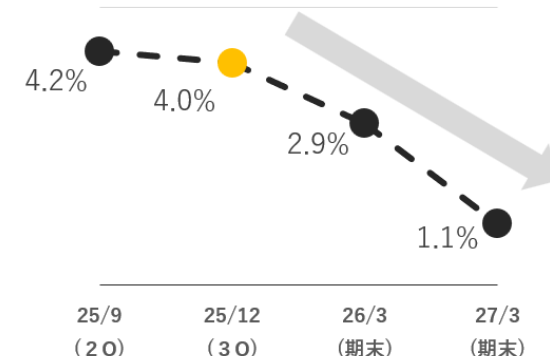
クレジット債権残高
延滞債権残高率



債権残高
前年比
+16.8%

一過性の影響

延滞債権残高率の推移（イメージ）



✓ 時間を要するものの、正常化への道筋を確保

✓ 保険金請求ポジションには至らず、保険料への影響はなし

(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア(株)の実績となります。

2. クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していないクレジット契約金額及びリース保証契約金額の総額となります。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の債権残高も含めた値であり、プレミア(株)の実績となります。

3. 延滞債権残高率とは、当該期末時点のクレジット及びリース債権残高に対し、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合となります。

(※) 1. 第2四半期に発生した旧システムへの完全切り戻しによる新規受付停止、債権回収業務の強化に伴う営業リソースの低下、粗利益の確保を優先した影響を指しております。

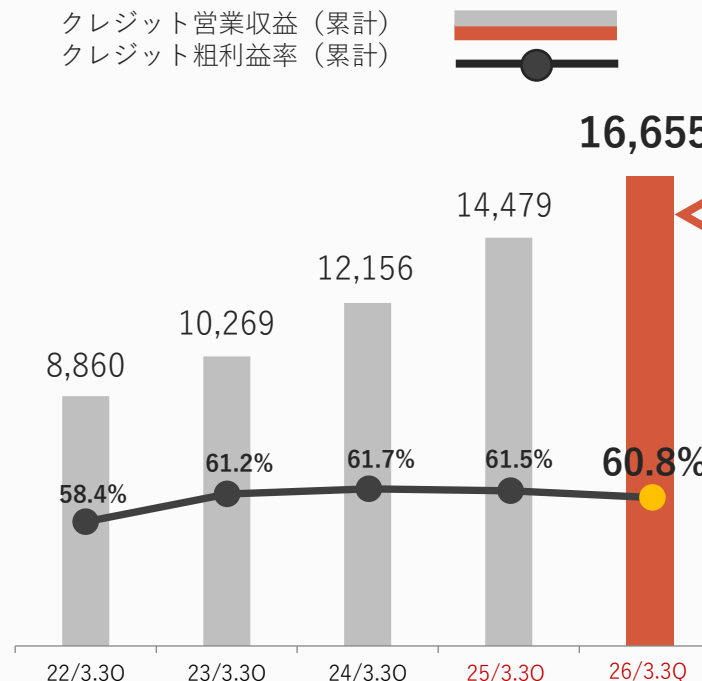
- ・ **営業収益**は安定した収益基盤を背景に **2桁成長**
- ・ システム障害を起因とした**収益計上の時期ずれ※1**は**▲4.6億円**と増加するも、延滞債権の解消に伴い順次**収益へ計上見込み**
- ・ 利上げ効果により、新規取扱高に対する**一括粗利益率※2**は**高水準**で安定

	25/3.3Q	26/3.3Q	前年比
営業収益	15,464	17,733	+14.7%
営業利益	4,335	3,164	▲27.0%
税引前利益	4,285	3,126	▲27.0%
税引前利益 [一過性の影響を除く]	[4,285]	[4,583]	[+6.9%]

利益低下の要因

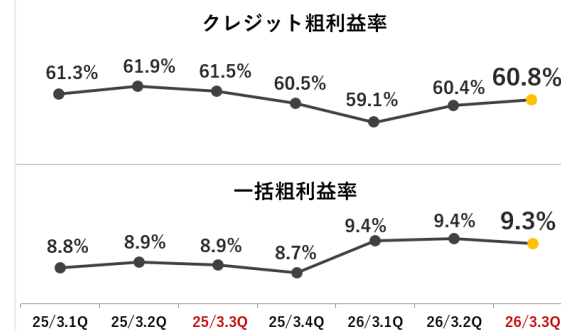
- ・ 収益計上の時期ずれ**▲4.6億円**
- ・ 当該影響を考慮した場合、税引前利益5,043百万円（前年比+17.7%）

クレジット営業収益（累計）
クレジット粗利益率（累計）



クレジット
営業収益※3
前年比
+15.0%

粗利益率 推移



- ✓ **クレジット粗利益率※4**は、前期末水準まで回復し、今後も**改善傾向**
- ✓ 新規取扱高に対する**一括粗利益率**は、利上げ効果により**顕著に改善**

(※) 1. システム障害を起因とする延滞債権の増加の影響により一時的に収益認識ができず、当該延滞債権の解消に応じて順次収益として計上される金額を指しております。
2. 顧客手数料から各種手数料を差し引いた一括粗利益を、取扱高で割ったもの。提携ローンのみを対象とした指標となります。（利上げ効果明示のための一時的な記載）
3. クレジットにかかる営業収益を集計しております。
4. クレジットにかかる営業利益を、クレジットにかかる営業収益で除した実績となります。
なお、当該粗利益率算出時の営業費用は、クレジット獲得のために直接発生した費用（金利、保証料、人件費、地代家賃等）となります。



01 決算ハイライト

02 通期業績予想

03 マーケット・KPI

04 決算概要

05 ファイナンス事業

06 故障保証事業

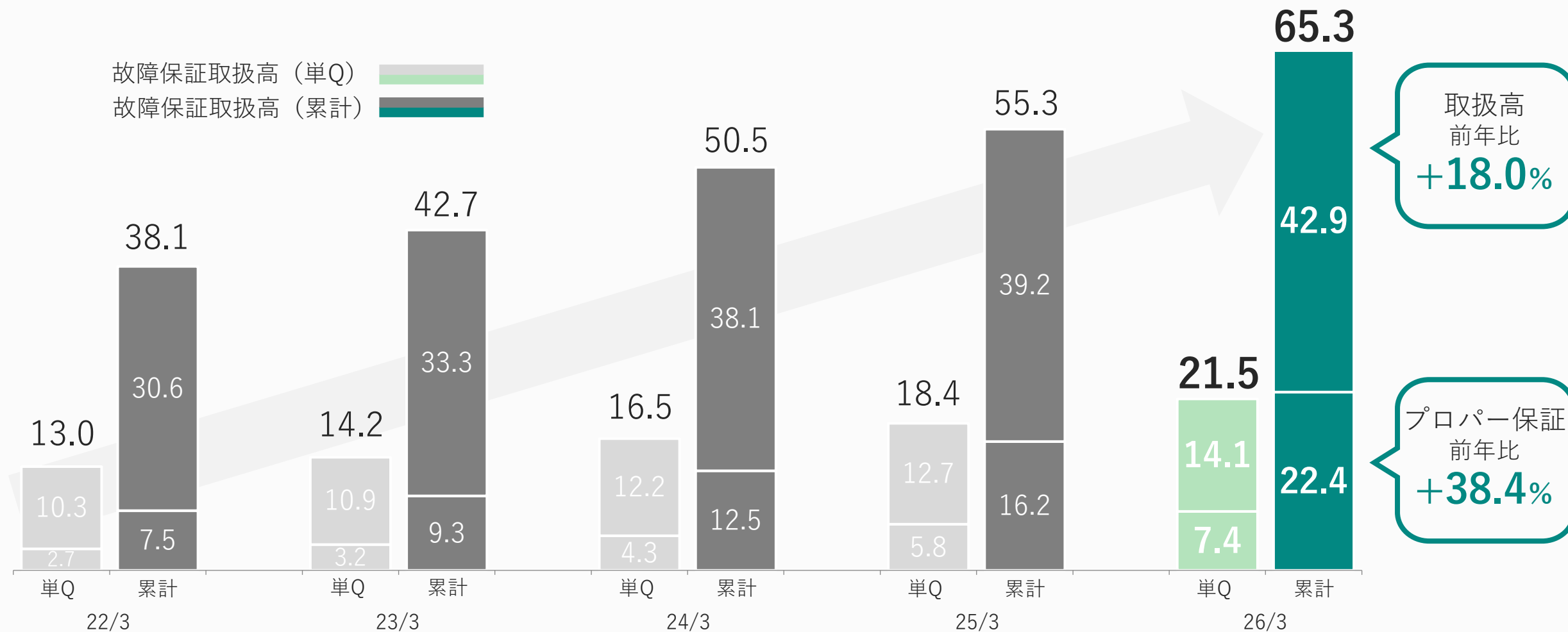
07 オートモビリティサービス事業

08 カープレミアクラブ

09 その他進捗

10 Appendix

- 中古車登録台数が伸び悩む中、故障保証取扱高は前年比**+18.0%**と通期を通して**高成長**
- プロパー保証、OEM保証**ともに**安定した成長**が続く

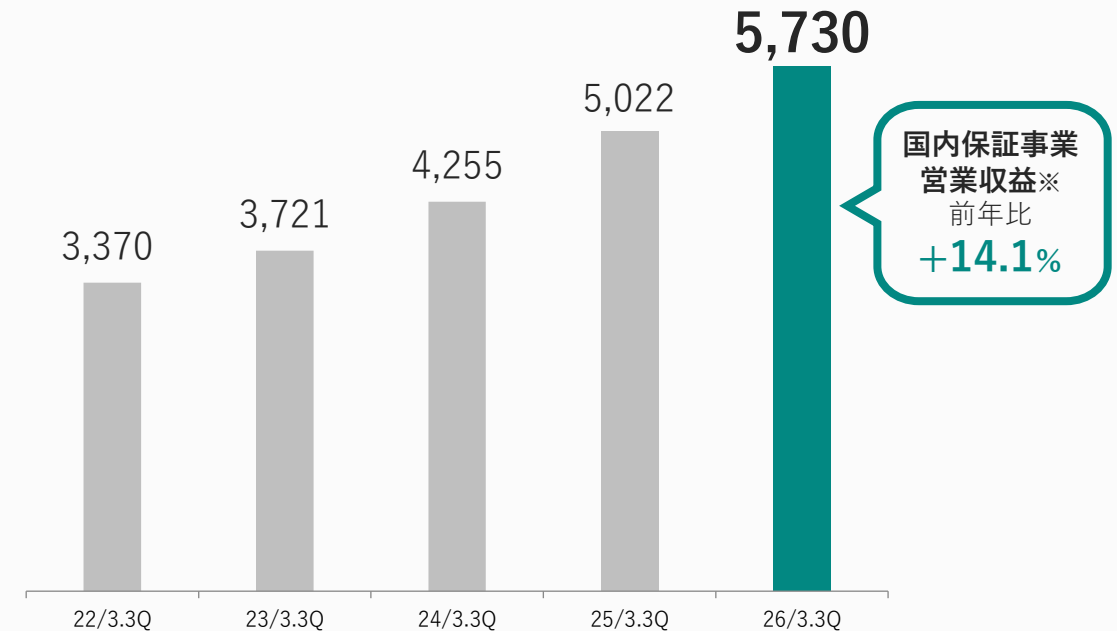


(注) 1. 故障保証取扱高とは、その期間で新たに締結した保証契約金額の総額となります。
2. 棒グラフの下段はプロパー保証商品、上段はOEM保証商品を表しております。

- 営業収益、営業利益及び税引前利益は **2桁成長** を継続
- 故障保証取扱高の安定獲得、原価低減の継続的な取り組みにより、**税引前利益**は前年比**+32.0%**

	25/3.3Q	26/3.3Q	前年比
営業収益	5,169	5,904	+14.2%
営業利益	768	978	+27.4%
税引前利益	840	1,109	+32.0%

国内保証事業営業収益



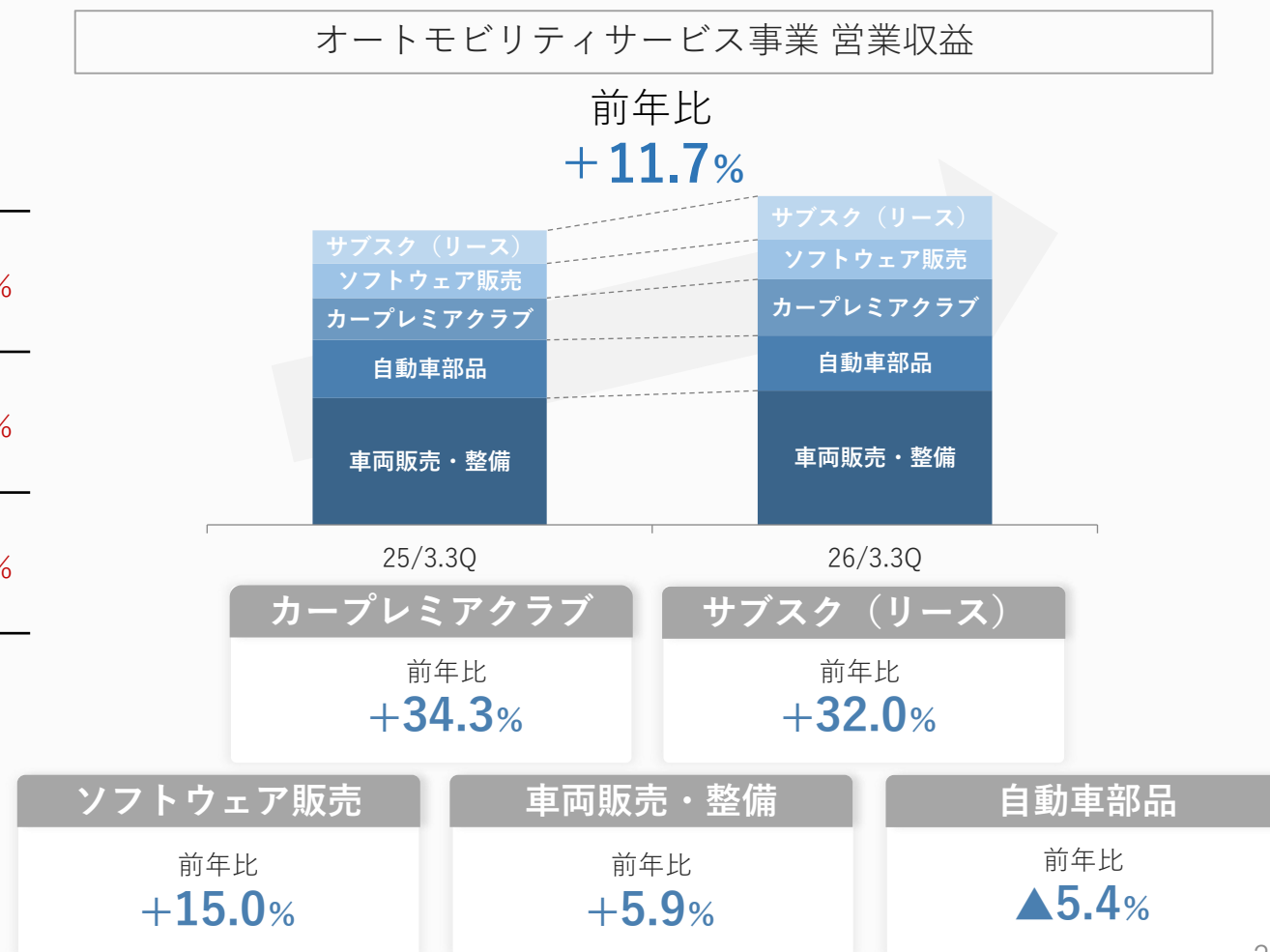
(※) 国内保証事業営業収益は、海外の実績を除いております。



- 01 決算ハイライト
- 02 通期業績予想
- 03 マーケット・KPI
- 04 決算概要
- 05 ファイナンス事業
- 06 故障保証事業
- 07 オートモビリティサービス事業**
- 08 カープレミアクラブ
- 09 その他進捗
- 10 Appendix

- ・ **税引前利益**は前年比 **+51.6%**と第2四半期を上回る**大幅増益**
- ・ **カープレミアクラブ**及び**サブスク（リース）**の**安定成長**、オートモビリティサービス事業全体での**営業費用の抑制**が奏功

	25/3.3Q	26/3.3Q	前年比
営業収益	6,786	7,577	+11.7%
営業利益	928	1,387	+49.5%
税引前利益	916	1,389	+51.6%



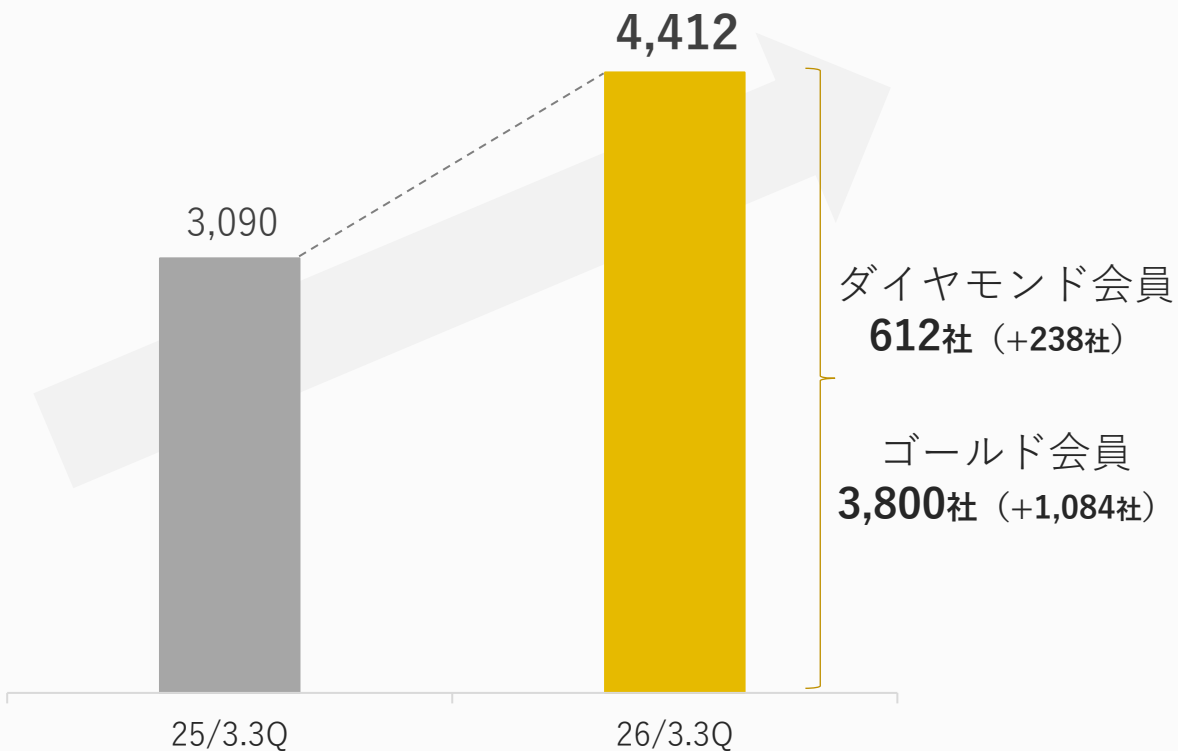


- 01 決算ハイライト
- 02 通期業績予想
- 03 マーケット・KPI
- 04 決算概要
- 05 ファイナンス事業
- 06 故障保証事業
- 07 オートモビリティサービス事業
- 08 カープレミアクラブ**
- 09 その他進捗
- 10 Appendix

- カープレミアクラブの合計会員数は**5,000社/店舗**を突破
- カープレミアディーラーは、**ダイヤモンド会員**が前年比**+238社**、**ゴールド会員**が前年比**+1,084社**と高成長
- カープレミアガレージは、商品ラインアップ強化の企画を進行中

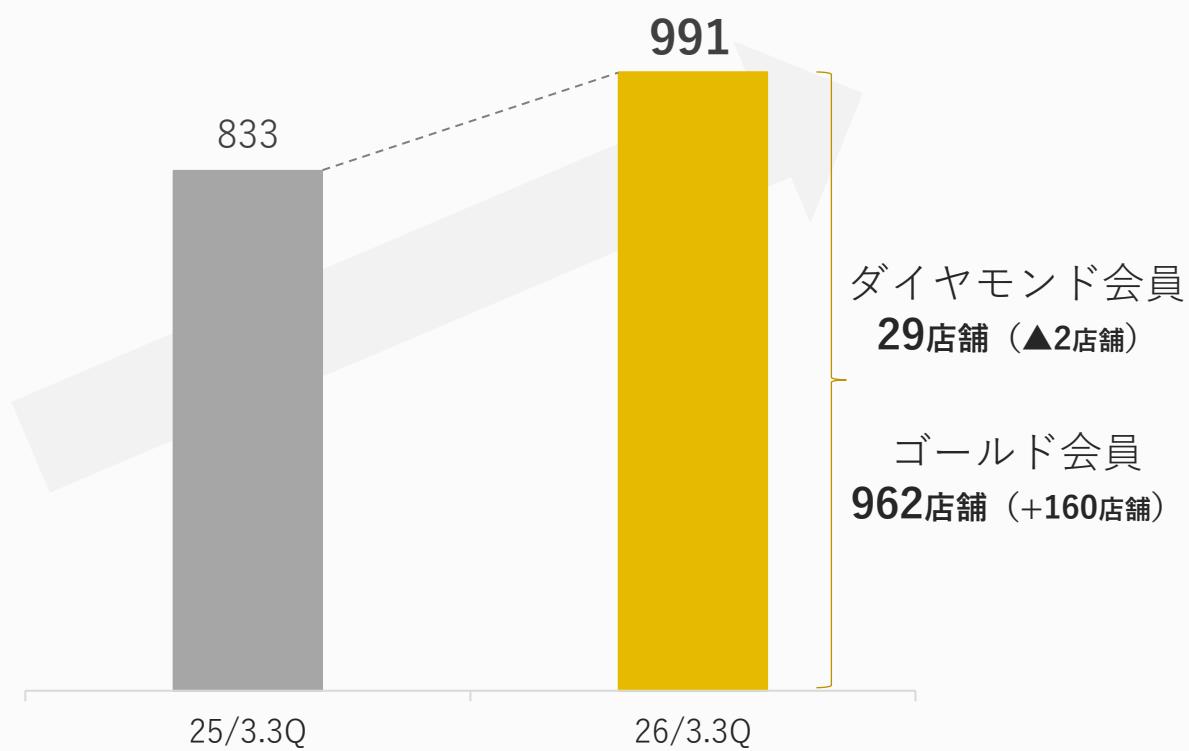
カープレミアディーラー（自動車販売店）

前年比 **+1,322社**



カープレミアガレージ（自動車整備工場）

前年比 **+158店舗**





- 01 決算ハイライト
- 02 通期業績予想
- 03 マーケット・KPI
- 04 決算概要
- 05 ファイナンス事業
- 06 故障保証事業
- 07 オートモビリティサービス事業
- 08 カープレミアクラブ
- 09 その他進捗
- 10 Appendix

組織再編（吸収合併）の概要

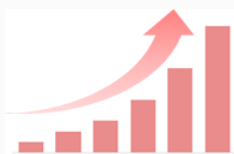
- ✓ ファイナンス、故障保証、オートモビリティサービスの主要3事業を「事業本部」として再編（2026年4月1日～）
- ✓ プレミアを存続会社とした、主要子会社4社の吸収合併（2026年7月1日）

事業会社単位の「部分最適」から
グループ全体の「全体最適」へ

- ✓ 「カーププレミア経済圏※」の深化と、2030年ビジョン「唯一無二のオートモビリティ企業」の実現
- ✓ 顧客体験（CX）の革新、経営リソースの集約、グループ・ガバナンスの高度化を推進

▶ リリースは[こちら](#)

トピックス



自己株式の取得 (2026/2/10開示)

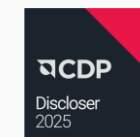
- 実施により、総還元性向50%超の見込
- 財務健全性/成長投資/M&Aを踏まえつつ、今後も株主還元/資本効率の向上を継続推進



日本格付研究所より 新規格付「A-」を取得

- 第三者機関から客観的な評価を取得することにより、経営の透明性と対外的な信用力を高めるとともに、今後の資金調達手段の多様化及び安定性の向上を図る

▶ リリースは[こちら](#)



気候変動分野において 「B」スコアを獲得

- 国際的な環境非営利組織CDP(Carbon Disclosure Project)が実施する、2025年度CDP質問書の「気候変動」分野において、評価が「D」スコアから「B」スコアへと向上

▶ リリースは[こちら](#)



- 01 決算ハイライト
- 02 通期業績予想
- 03 マーケット・KPI
- 04 決算概要
- 05 ファイナンス事業
- 06 故障保証事業
- 07 オートモビリティサービス事業
- 08 カープレミアクラブ
- 09 その他進捗
- 10 Appendix

社名	プレミアグループ株式会社
証券コード／市場	7199 ／ 東京証券取引所市場プライム市場
設立	2015年5月25日 ※2007年 プレミア株式会社設立（旧社名：株式会社ジー・ワンクレジットサービス）
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	40,687,302株 2025年12月末時点
資本金	1,801百万円 単体／2025年12月末時点
従業員数	868名 連結／2025年12月末時点 （※）臨時雇用者を除くグループ従業員数
グループ内容	国内及び海外※における各事業 ・ファイナンス事業 ・故障保証事業 ・オートモビリティサービス事業 ・カープレミア(自動車販売店、自動車整備工場の会員組織構築) ※海外（タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国等）

事業内容



- プレミアグループは、自動車販売店や自動車整備工場の皆さまと一緒にお客様に豊かなカーライフを届けるオートモビリティ企業です

事業セグメント

ファイナンス事業

主な事業

- ・オートクレジット
- ・エコロジッククレジット
- ・ショッピングクレジット
- ・サービサー

主な取引先

- ・自動車販売店

故障保証事業

主な事業

- ・自動車の故障保証事業
- ・故障保証事業の海外展開
(タイ、インドネシア、フィリピン)

主な取引先

- ・自動車販売店、自動車整備工場

オートモビリティサービス事業

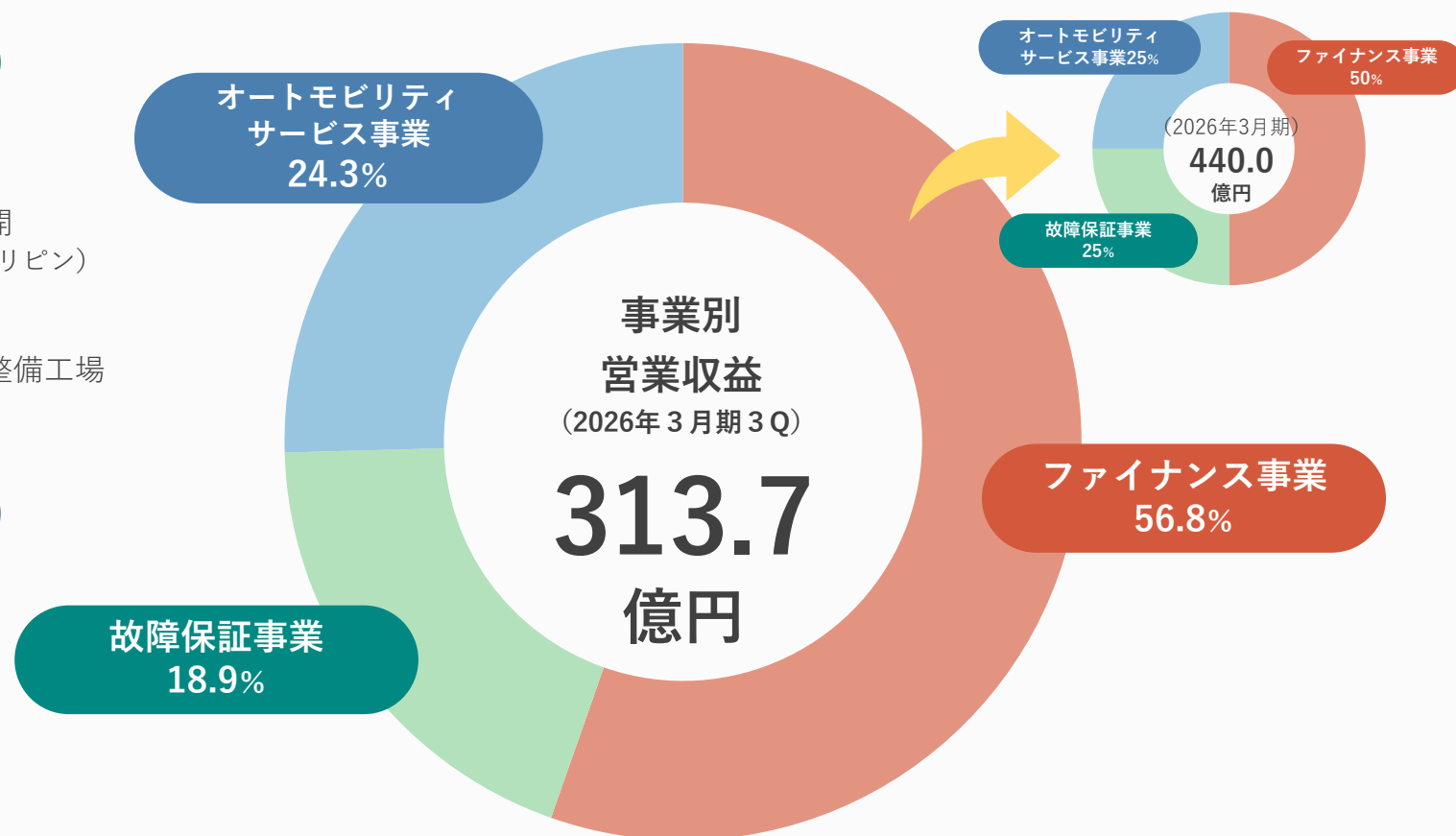
主な事業

- ・会員組織「カープレミアクラブ」の運営
- ・車両卸販売
- ・業務用ソフトウェア販売
- ・オートリース
- ・自動車整備工場の運営
- ・国内外への中古パーツ販売

主な取引先

- ・自動車販売店、自動車整備工場

セグメント別ポートフォリオ



セグメント別業績一覧

2026年 3 月期 3 Q

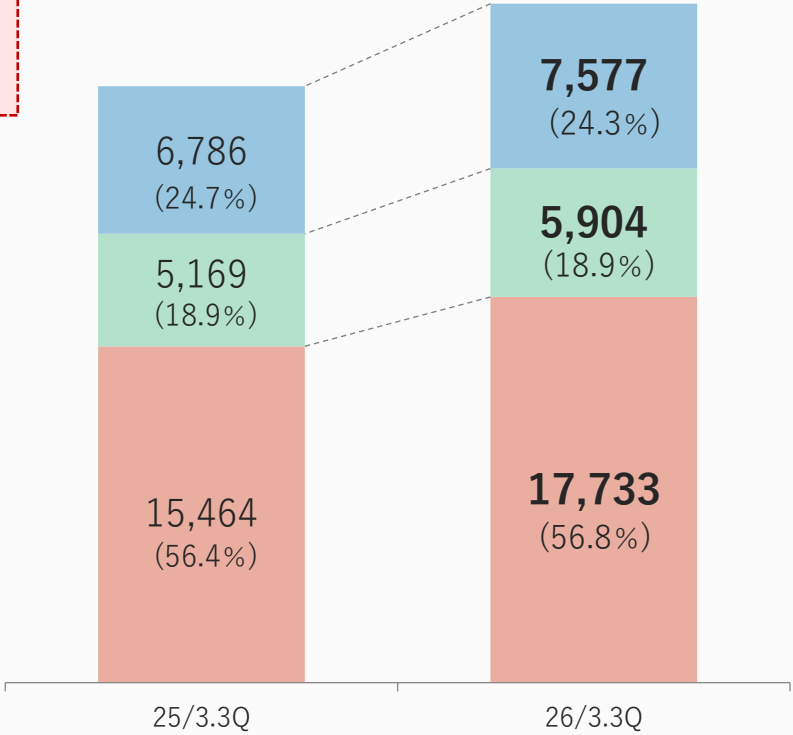
営業収益 営業利益 税引前利益

ファイナンス事業	17,733 前年比 +14.7%	3,164 前年比 ▲27.0%	3,126 前年比 ▲27.0%
故障保証事業	5,904 前年比 +14.2%	978 前年比 +27.4%	1,109 前年比 +32.0%
オートモビリティサービス事業	7,577 前年比 +11.7%	1,387 前年比 +49.5%	1,389 前年比 +51.6%

一過性費用を除く
[4,583]
前年比+6.9%

営業収益

ファイナンス 故障保証 オートモビリティサービス



中期経営計画「ONE & ONLY 2026」 Summary



中期ビジョン

ONE & ONLYのオートモビリティ企業を目指して、
カープレミア事業モデルの確立

数値目標（2026年3月期）

営業収益

440億円

23/3比 +74.6%

税引前利益

102億円

23/3比 +91.0%

当期利益

70億円

23/3比 +75.0%

ROE

30%台

23/3実績 34.7%

時価総額

1,400~1,750億円

23/3比 204~255%

重要課題



カープレミア

- ・カープレミアクラブの拡大
- ・カープレミアブランドの確立
- ・リアル／ネットの集客力強化



ファイナンス

- ・カープレミアディーラーを拡大
- ・加盟店当たりの取引量増加

・取扱拡大



故障保証

- ・第三者保証市場の拡大
- 自社商品中心に拡販
- ・修理原価の低減

- ・DX人材の強化
- ・DXへ継続投資

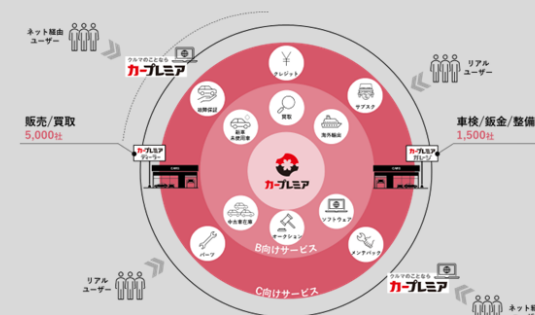


モビリティ
サービス

- ・モビリティサービスの拡充
- ・モビリティ各事業の規模拡大
- ・差別化商品の開発

- ・DX推進による
業務効率化および
省力化実現

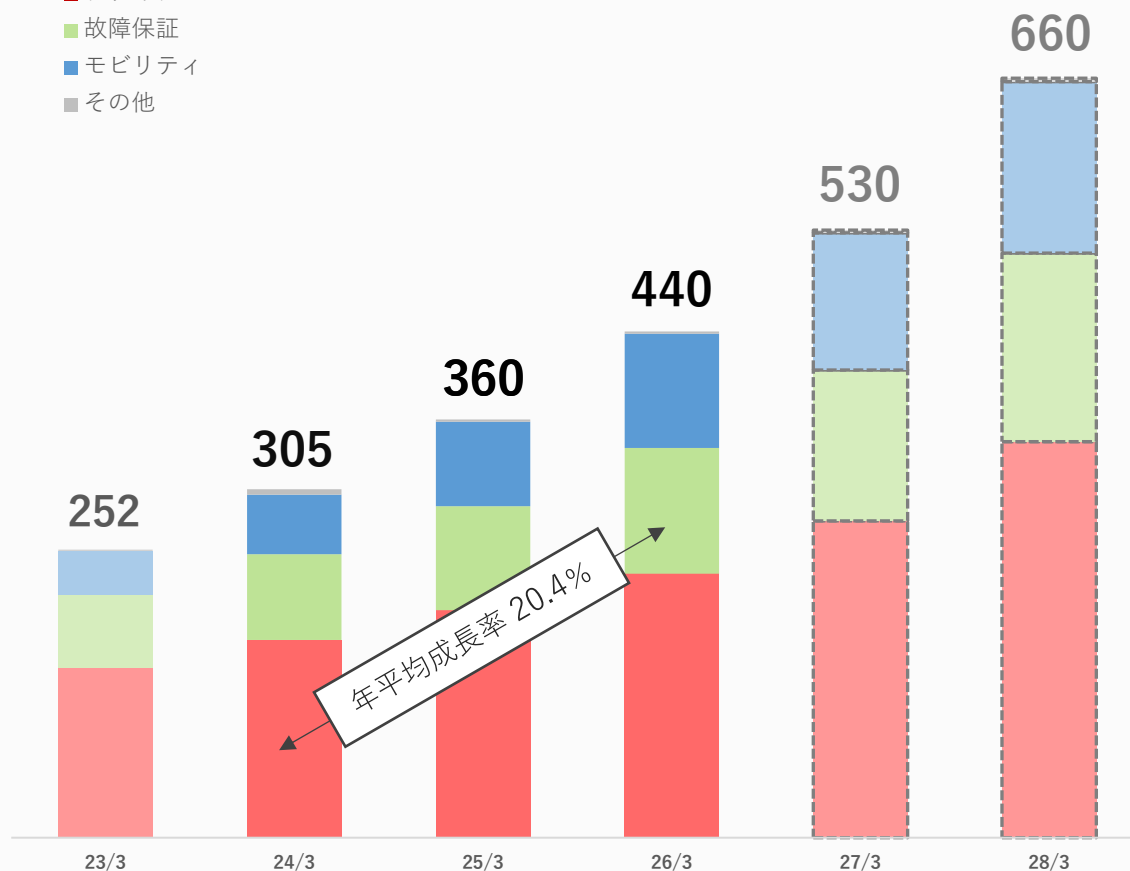
カープレミア 事業モデルの確立



営業収益

(億円)

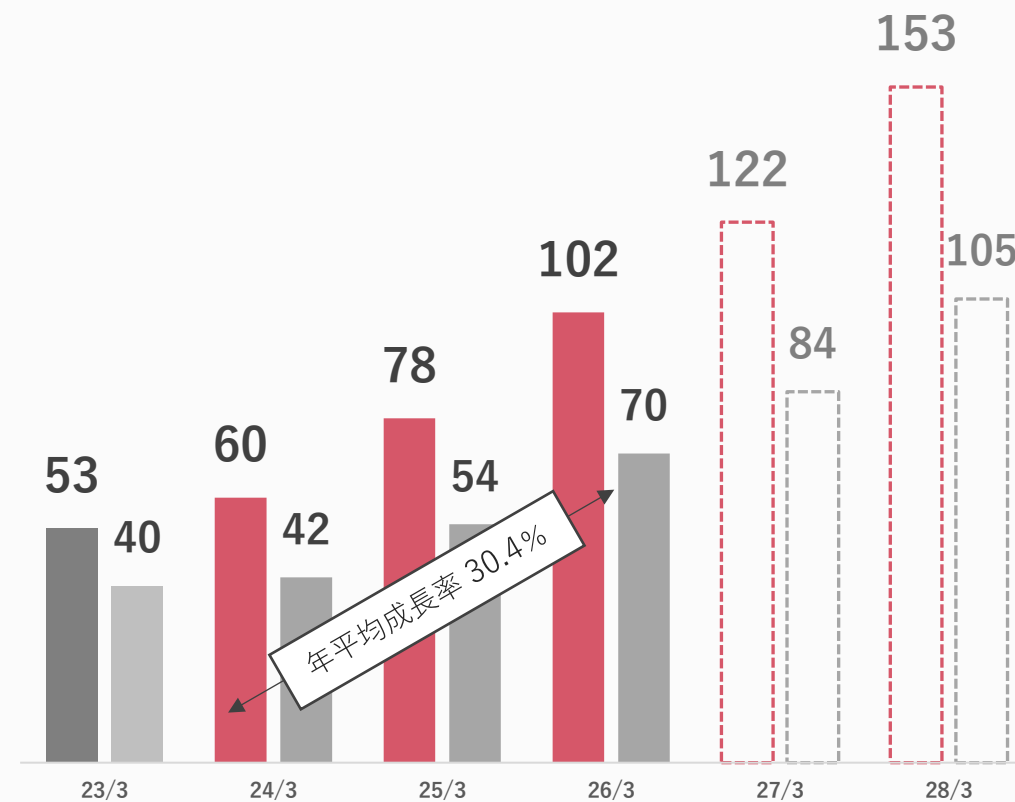
- ファイナンス
- 故障保証
- モビリティ
- その他



税引前利益／当期利益

(億円)

- 税引前利益
- 親会社の所有者に帰属する当期利益



(24/3 3Q)カープレミアあんしんショップ制度をリリース



- お客様が安心して商品やサービスを受けられる制度「カープレミアあんしんショップ」を2024年1月29日より開始

カープレミアあんしんショップとは

全てのお客様がお取引内容を理解・納得いただけるよう
「あんしん宣言」を掲げサービス提供するお店

- ✓ 当社の基準をクリア
- ✓ あんしん宣言／規約同意
- ✓ カープレミア点検の実施

カープレミア
あんしんショップ

- ✓ あんしんサービスの提供
- ✓ カープレミアサイトで上位表示

カープレミアクラブ
ダイヤモンド会員

カープレミアクラブ
ゴールド会員

あんしん宣言・サービス内容



車両購入のあんしん宣言



購入・作業内容を十分理解し、納得できるよう正確で詳細な説明を実施します

車両購入後14日以内の不具合修理をカープレミアが最大**30**万円までお支払い



車両整備のあんしん宣言



安心して乗れるようカープレミアで点検を実施し、納車します

車両整備後14日以内の不具合修理をカープレミアが最大**30**万円までお支払い

カープレミアディーラー
オートクレジット割合※1

前年比
+22.1ポイント

66.6%

有料会員の増加による
堅調な増加推移を維持

営業人員数

前年比
▲3名

95名

・継続して営業人員PH※2の
増加に注力
(仕組化や営業活動の効率化)

AI審査判定率

前年比
▲1.9ポイント

36.6%

審査の精度をさらに向上させ
審査時間の削減や判定の標準化を促進

(※) 1. 当社取扱いのオートクレジット取扱高のうち、自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」が占める割合となります。

2. PH（パーヘッド）とはオート営業1人あたりのオート月間取扱高平均となります。2026年3月期第2四半期以降、システム障害に起因する債権回収業務の強化に伴う営業リソースの低下により、PHが減少しております。

	25/3 (2025年3月31日)	26/3.2Q (2025年9月30日)	26/3.3Q (2025年12月31日)	前期末比	前Q比
資産の部					
現金及び現金同等物	17,159	24,160	29,004	+69.0%	+20.0%
金融債権	74,719	78,990	80,757	+8.1%	+2.2%
その他の金融資産	8,366	8,813	9,862	+17.9%	+11.9%
有形固定資産	5,396	5,064	4,895	△9.3%	△3.3%
無形資産	9,201	8,933	8,959	△2.6%	+0.3%
のれん	3,958	3,958	3,958	+0.0%	+0.0%
持分法投資	4,085	4,427	4,734	+15.9%	+6.9%
繰延税金資産	50	196	382	+662.1%	+95.5%
保険資産	42,130	39,925	36,323	△13.8%	△9.0%
その他の資産	19,924	14,478	12,149	△39.0%	△16.1%
資産合計	184,988	188,943	191,022	+3.3%	+1.1%
負債の部					
金融保証契約	81,245	63,515	58,159	△28.4%	△8.4%
故障保証前受収益	8,055	8,822	9,027	+12.1%	+2.3%
借入金	51,188	70,781	80,645	+57.5%	+13.9%
その他の金融負債	16,686	14,565	11,725	△29.7%	△19.5%
引当金	436	495	466	+6.8%	△5.8%
未払法人所得税	1,821	947	817	△55.1%	△13.7%
繰延税金負債	836	1,270	1,200	+43.5%	△5.5%
その他の負債	5,773	5,656	5,457	△5.5%	△3.5%
負債合計	166,039	166,051	167,494	+0.9%	+0.9%
資本の部					
親会社の所有者に帰属する持分					
資本金	1,700	1,794	1,801	+5.9%	+0.4%
資本剰余金	1,585	2,540	2,547	+60.7%	+0.3%
利益剰余金	17,949	19,778	20,196	+12.5%	+2.1%
自己株式	△ 3,046	△ 2,052	△ 2,022	△33.6%	△1.5%
その他の資本の構成要素	734	812	982	+33.8%	+20.9%
親会社の所有者に帰属する持分合計	18,923	22,871	23,505	+24.2%	+2.8%
非支配持分	26	21	23	△10.3%	+9.9%
資本合計	18,948	22,892	23,528	+24.2%	+2.8%
負債及び資本合計	184,988	188,943	191,022	+3.3%	+1.1%

PL（連結累計期間）

（単位：百万円）



連結累計期間	25/3.1Q~3Q (2024年4月1日～ 2024年12月31日)	26/3.1Q~3Q (2025年4月1日～ 2025年12月31日)	前年同期比
営業収益	27,429	31,366	+14.4%
営業費用	21,420	25,705	+20.0%
営業利益	6,009	5,662	△5.8%
持分法による投資利益	6	83	+1369.9%
その他の金融収益	58	200	+246.8%
その他の金融費用	25	47	+89.7%
税引前当期（四半期）利益	6,048	5,897	△2.5%
法人所得税費用	1,935	1,832	△5.3%
当期（四半期）利益	4,112	4,065	△1.1%
当期利益の所属			
親会社の所有者に帰属する利益	4,111	4,061	△1.2%
非支配持分に帰属する利益	1	4	+330.9%

PL（連結累計期間／営業収益・営業費用）

（単位：百万円）



連結累計期間	25/3.1Q~3Q (2024年4月1日～ 2024年12月31日)	26/3.1Q~3Q (2025年4月1日～ 2025年12月31日)	前年同期比
営業収益			
金融収益	12,973	15,127	+16.6%
故障保証収益	5,093	5,831	+14.5%
オートモビリティ関連売上	4,634	5,303	+14.4%
その他手数料売上	2,304	2,240	△2.8%
部品売上	1,338	1,268	△5.3%
金融資産の減損利得	523	895	+71.3%
保険履行収益	164	255	+55.3%
その他	400	447	+11.6%
合計	27,429	31,366	+14.4%

連結累計期間	25/3.1Q~3Q (2024年4月1日～ 2024年12月31日)	26/3.1Q~3Q (2025年4月1日～ 2025年12月31日)	前年同期比
営業費用			
金融費用	352	741	+110.2%
故障保証原価	2,911	3,311	+13.7%
オートモビリティ関連原価	2,577	2,807	+8.9%
支払保証料	2,878	3,523	+22.4%
部品原価	1,030	965	△6.4%
従業員給付費用	4,925	5,449	+10.6%
減価償却費及び償却費	1,339	1,620	+21.0%
支払手数料	1,079	1,182	+9.5%
租税公課	779	1,038	+33.3%
システム運営費	780	1,592	+104.2%
業務委託料	653	1,039	+59.1%
その他営業費用	2,116	2,437	+15.2%
合計	21,420	25,705	+20.0%

PL（連結会計期間）

連結会計期間	25/3.3Q (2024年10月1日～ 2024年12月31日)	26/3.2Q (2025年7月1日～ 2025年9月30日)	26/3.3Q (2025年10月1日～ 2025年12月31日)	前年同期比	前 Q 比
営業収益	9,337	10,592	10,479	+12.2%	△1.1%
営業費用	7,378	8,620	8,373	+13.5%	△2.9%
営業利益	1,959	1,971	2,106	+7.5%	+6.8%
持分法による投資利益	△ 36	49	5	△115.0%	△89.1%
その他の金融収益	25	25	67	+168.1%	+173.5%
その他の金融費用	△ 23	23	11	△146.4%	△51.7%
税引前当期（四半期）利益	1,972	2,023	2,167	+9.9%	+7.1%
法人所得税費用	631	647	694	+9.9%	+7.1%
当期（四半期）利益	1,341	1,376	1,474	+9.9%	+7.1%
当期利益の所属					
親会社の所有者に帰属する利益	1,340	1,375	1,472	+9.8%	+7.1%
非支配持分に帰属する利益	0	1	2	+502.9%	+115.6%

PL（連結会計期間／営業収益・営業費用）

(単位：百万円)



連結会計期間	25/3.3Q (2024年10月1日～ 2024年12月31日)	26/3.2Q (2025年7月1日～ 2025年9月30日)	26/3.3Q (2025年10月1日～ 2025年12月31日)	前年同期比	前Q比
営業収益					
金融収益	4,486	4,867	5,240	+16.8%	+7.6%
故障保証収益	1,747	1,946	2,021	+15.7%	+3.8%
オートモビリティ関連売上	1,668	1,805	1,774	+6.4%	△1.7%
その他手数料売上	819	729	806	△1.6%	+10.6%
部品売上	381	472	354	△7.1%	△24.9%
金融資産の減損利得	63	448	124	+96.1%	△72.3%
保険履行収益	-	255	-	-	-
その他	173	69	159	△8.1%	+130.1%
合計	9,337	10,592	10,479	+12.2%	△1.1%

連結会計期間	25/3.3Q (2024年10月1日～ 2024年12月31日)	26/3.2Q (2025年7月1日～ 2025年9月30日)	26/3.3Q (2025年10月1日～ 2025年12月31日)	前年同期比	前Q比
営業費用					
金融費用	124	238	274	+121.5%	+15.2%
故障保証原価	981	1,190	1,144	+16.6%	△3.9%
オートモビリティ関連原価	994	914	873	△12.2%	△4.5%
支払保証料	1,011	1,158	1,212	+20.0%	+4.7%
部品原価	285	354	283	△0.6%	△20.2%
従業員給付費用	1,706	1,824	1,829	+7.2%	+0.3%
減価償却費及び償却費	470	542	544	+15.8%	+0.3%
支払手数料	376	430	394	+4.6%	△8.5%
租税公課	269	343	337	+25.3%	△1.8%
システム運営費	279	542	386	+38.6%	△28.7%
業務委託料	224	356	326	+45.7%	△8.3%
その他営業費用	660	729	771	+16.7%	+5.7%
合計	7,378	8,620	8,373	+13.5%	△2.9%



本資料に掲載されているIR情報は、プレミアグループ株式会社及び関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は本資料の情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。本資料に情報を掲載する際には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に含まれる著作物は、著作権法により保護されており、それらが無断で複製、改編、翻訳、頒布、実演または展示することは禁止されております。本資料への情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことは控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。